

令和3年度県民満足度調査
調査結果報告書
(人生の最終段階における医療等編)

令和3(2021)年8月
岡山県

目 次

第 I 部 調査の概要

1 調査の目的	1
2 調査の方法等	1
3 集計・分析方法	2
4 報告書の見方	2

第 II 部 調査結果

1 あなたご自身について

問 1 (1) 性別及び年齢階層	3
問 1 (2) 世帯構成	3
問 1 (3) 同居の子どもの有無	3
問 1 (4) 子どもの成長段階	4
問 1 (5) 居住地域 (県民局)	4
問 1 (6) 居住地域 (医療圏域)	4
問 1 (7) 県内での通算居住年数	4
問 1 (8) 職業	5

2 人生の最終段階における医療等について

問 20 介護を受けたい場所	6
問 21 死が近い場合の医療について考えた経験	9
問 22 死が近い場合の医療に関する家族などとの話し合い	11
問 22-1 死が近い場合の医療に関する話し合いをしたことのない理由	15
問 23 余命が短い場合の延命医療の意向	17
問 24 余命が短い場合に療養・最期を迎えたい場所	22

第 I 部 調査の概要

1 調査の目的

令和3年度からの県政推進の羅針盤として策定した「第3次晴れの国おかやま生き生きプラン」に掲げる項目に関連した県民満足度と、県施策の重要性についての県民の意向を把握し、今後の施策展開の基礎資料とすることを目的にアンケート調査を行った。

2 調査の方法等

- | | |
|-----------|--|
| (1) 調査地域 | 岡山県内市町村 |
| (2) 調査対象者 | 岡山県内市町村在住の18歳以上の男女（令和3年4月1日現在）
2,500人 |
| (3) 調査方法 | 住民基本台帳から無作為抽出して調査票を郵送配布（郵送回収） |
| (4) 回収結果 | 1,428人（回答率 57.1%） |
| (5) 調査期間 | 令和3年5月28日（金）～6月15日（火） |

3 集計・分析方法

本調査では、回答者の年齢階層の偏りを補正するため、年齢区分ごとの母集団の構成比に合わせてデータに重み付けをするウェイトバック集計を行った。報告書中の値は、ウェイトバック集計後の値を掲載している。

年齢区分	推定母集団		有効回答数		補正值 (①/②)
	人数(人)	構成比(%) ①	人数(人)	構成比(%) ②	
20代以下	221,926	14.0	138	9.7	1.44492
30代	219,418	13.9	148	10.4	1.33206
40代	254,777	16.1	205	14.4	1.11666
50代	219,719	13.9	251	17.7	0.78652
60代	275,529	17.4	250	17.6	0.99024
70代以上	390,172	24.7	429	30.2	0.81717
合計	1,581,541	100.0	1,421	100.0	-

(注1) 推定母集団は平成27年10月1日現在の国勢調査から算出。

(注2) 構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計と内訳の計が一致しない場合がある。

(注3) 補正值は小数点以下を含んだ各構成比から算出しており、小数点以下第6位を四捨五入した各構成比から算出。

(注4) 総回収数1,428のうち、年齢についての未回答数は7。

4 報告書の見方

1. 回答者数は、ウェイトバック集計を行い小数点以下第1位を四捨五入しているため、総数と内訳の計が一致しない場合がある。
2. 比率については小数点以下第2位を四捨五入しているため、比率が0.05未満の場合には0.0として扱っている。また、この四捨五入のため、比率計がちょうど100.0とならない場合がある。
3. グラフの中の計はその項目の回答者の実数で、比率算出の基数となる。
4. 複数回答が可能な項目については、原則として、その項目に対して有効な回答をした者の数を基数として比率算出を行っているため、比率計は100.0%を超えている。
5. 報告書中の図表では、表記の都合上、回答選択肢の表現を短縮している場合がある。
6. 報告書中の図表では、回答選択肢の中で最大値に網掛けをしている。

第Ⅱ部 調査結果

1 あなたご自身について

■問1(1) 年齢階層及び性別

単位:上段は人、下段の()内は%

	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答	計
男性	77 (13.2)	72 (12.4)	95 (16.4)	79 (13.7)	102 (17.6)	153 (26.4)	1 (0.2)	579 (40.5)
女性	121 (14.5)	125 (15.0)	134 (16.0)	116 (13.8)	144 (17.2)	195 (23.4)	1 (0.1)	836 (58.5)
その他・無回答	1 (7.7)	-	-	3 (23.1)	2 (15.4)	2 (15.4)	5 (38.5)	13 (0.9)
計	199 (14.0)	197 (13.8)	229 (16.0)	197 (13.8)	248 (17.3)	351 (24.5)	7 (0.5)	1,428 (100.0)

(注1)「20代以下」は、18~29歳である

(注2)性別「その他」の回答数は1件であるため「無回答」と合わせて集計

<参考>岡山県の年齢別人口構成

単位:()内は%

	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上	計
構成比	(14.0)	(13.9)	(16.1)	(13.9)	(17.4)	(24.7)	(100.0)

(注)上記構成比は、平成27年10月1日現在の国勢調査から算出

■問1(2) 世帯構成

単位:上段は人、下段の()内は%

	ひとり暮らし	夫婦のみ	親・子の二世帯	親・子・孫の三世帯	その他	無回答	計
構成比	155 (10.9)	331 (23.2)	719 (50.3)	170 (11.9)	37 (2.6)	16 (1.1)	1,428 (100.0)

<参考>岡山県の家族構成

単位:()内は%

	親族世帯全体(69.0)					非親族世帯	単独世帯	不詳	計
	核家族世帯全体(58.1)				その他の親族世帯				
構成比	夫婦のみの世帯	夫婦と子供から成る世帯	男親と子供から成る世帯	女親と子供から成る世帯					
	(19.7)	(29.1)	(1.5)	(7.8)	(10.9)	(0.8)	(29.8)	(0.5)	(100.0)

■問1(3) 同居の子どもの有無

単位:上段は人、下段の()内は%

	子どもがいる	子どもはいない	無回答	計
構成比	608 (42.6)	805 (56.4)	15 (1.1)	1,428 (100.0)

■問 1 (4) 子どもの成長段階

単位：上段は人、下段の()内は%

	小学校 入学前	小学生	中学生	高校生・大 学受験生	短大、大学、 大学院、 専門学校 などの学生	社会人	その他	無回答	計
構成比	151 (24.9)	131 (21.5)	88 (14.4)	90 (14.8)	68 (11.2)	269 (44.3)	13 (2.2)	1 (0.2)	608 (100.0)

■問 1 (5) 居住地域 (県民局)

単位：上段は人、下段の()内は%

地 域	回答者数	配布者数
備前地域 (岡山市、玉野市、備前市、瀬戸内市、赤磐市、和気町、吉備中央町)	670 (46.9)	1,189 (47.6)
備中地域 (倉敷市、笠岡市、井原市、総社市、高梁市、新見市、浅口市、早島町、里庄町、矢掛町)	578 (40.5)	1,010 (40.4)
美作地域 (津山市、真庭市、美作市、新庄村、鏡野町、勝央町、奈義町、西粟倉村、久米南町、美咲町)	171 (12.0)	301 (12.0)
無回答	9 (0.6)	
合計	1,428 (100.0)	2,500 (100.0)

■問 1 (6) 居住地域 (医療圏域)

単位：上段は人、下段の()内は%

地 域	回答者数	配布者数
県南東部 (岡山市、玉野市、備前市、瀬戸内市、赤磐市、和気町、吉備中央町)	670 (46.9)	1,189 (47.6)
県南西部 (倉敷市、笠岡市、井原市、総社市、浅口市、早島町、里庄町、矢掛町)	541 (37.9)	931 (37.2)
高梁・新見 (高梁市、新見市)	37 (2.6)	79 (3.2)
真庭 (真庭市、新庄村)	39 (2.8)	63 (2.5)
津山・英田 (津山市、美作市、鏡野町、勝央町、奈義町、西粟倉村、久米南町、美咲町)	132 (9.3)	238 (9.5)
無回答	9 (0.6)	
合計	1,428 (100.0)	2,500 (100.0)

■問 1 (7) 県内での通算居住年数

単位：上段は人、下段の()内は%

	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 20年未満	20年以上	無回答	計
構成比	65 (4.5)	51 (3.6)	158 (11.1)	1,141 (79.9)	12 (0.8)	1,428 (100.0)

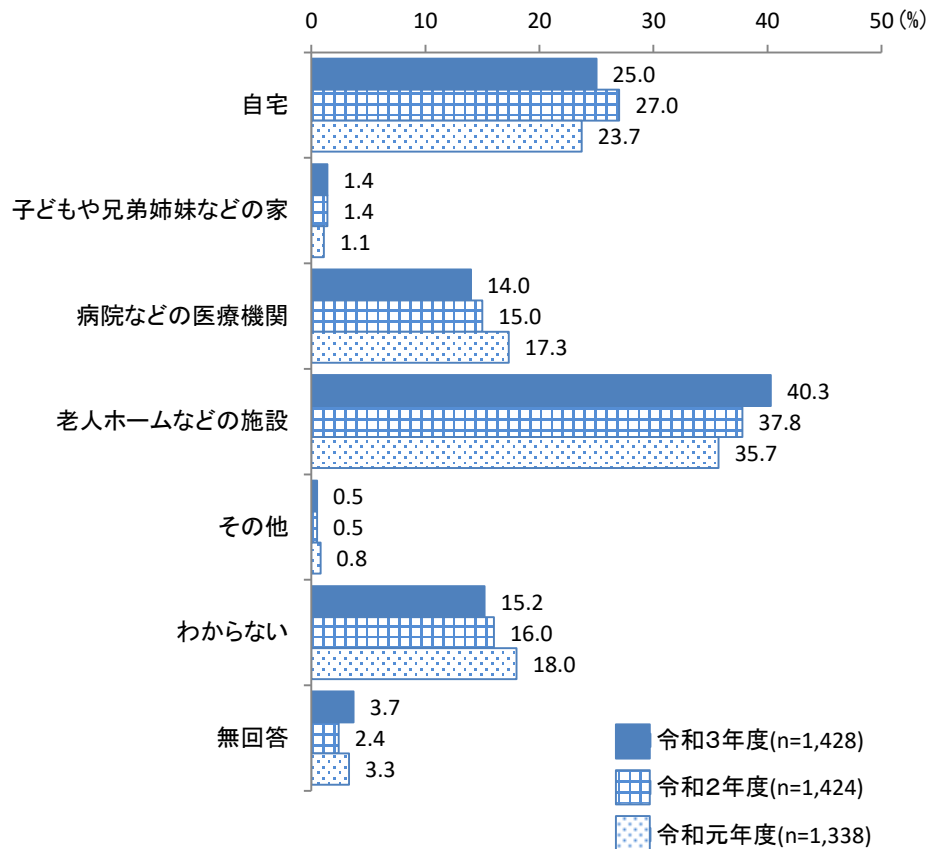
■問 1 (8) 職業

単位：上段は人、下段の()内は%

	自営業(農 林漁業、商 工サービス 業などで、 家族従業 者を含む)	会社・団体 などの正社 員(正職 員)	会社・団体 などの役員	パートタイ マー、アル バイト、契 約社員 など	専業主婦 (主夫)	学生	無職	無回答	計
構成比	122 (8.5)	468 (32.7)	34 (2.4)	266 (18.7)	165 (11.5)	51 (3.6)	308 (21.6)	14 (1.0)	1,428 (100.0)

2 人生の最終段階における医療等について

- 問 20 あなたが高齢となり、日常生活を送る上で介護が必要な状態（自分一人では身の回りのことをするのが困難）になった場合、どこで介護を受けたいですか。最もあてはまる番号1つに○印をつけてください。



○前年度との比較

◆上昇

「老人ホームなどの施設」(前年度差 2.5)

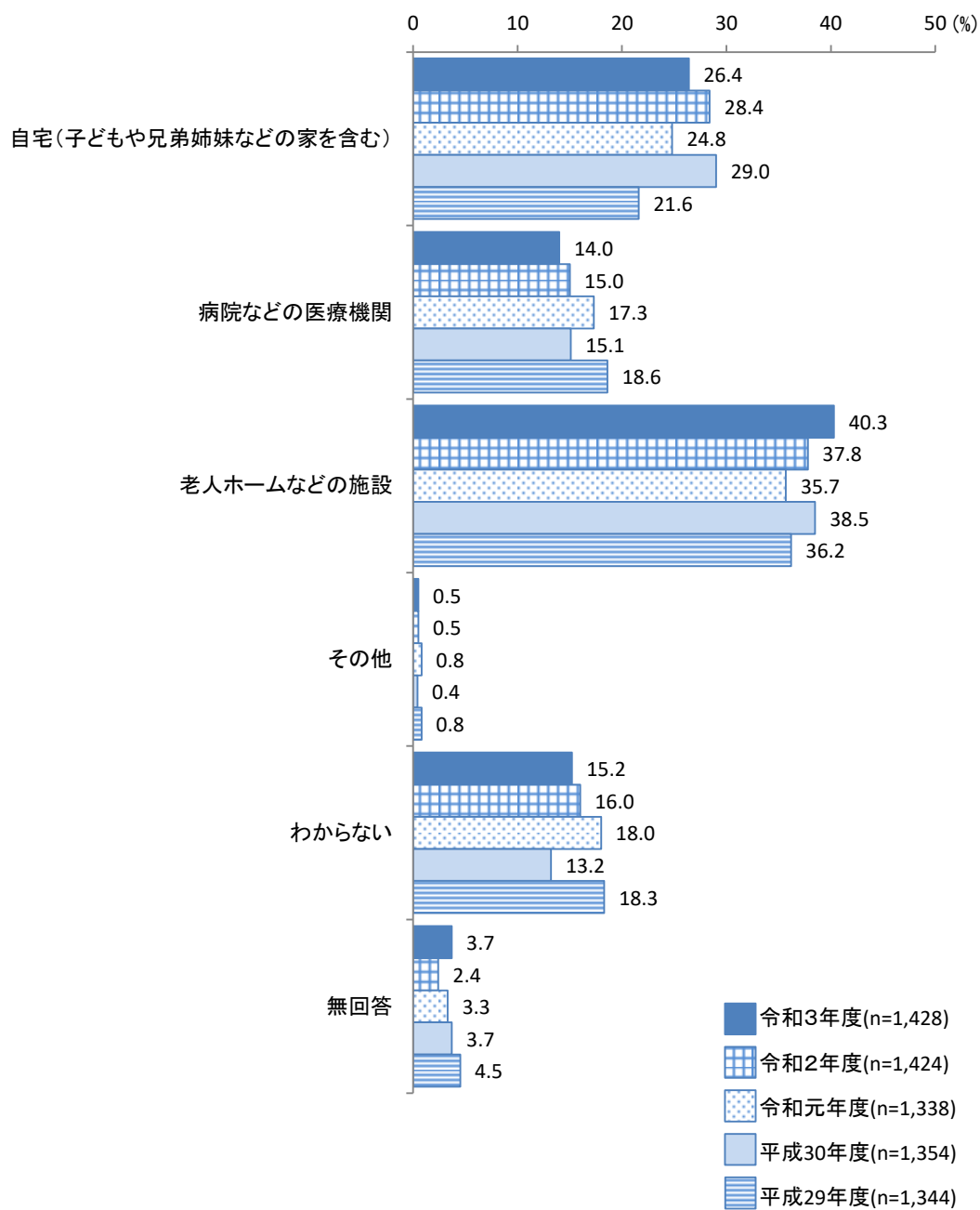
◆低下

「自宅」(前年度差▲2.0)

「病院などの医療機関」(前年度差▲1.0)

「わからない」(前年度差▲0.8)

<経年比較>



※平成 29 年度調査までの調査結果と比較するため、「自宅 (子どもや兄弟姉妹などの家を含む)」は本年度調査、令和 2 年度調査、令和元年度調査、平成 30 年度調査の「自宅」と「子どもや兄弟姉妹などの家」を合わせた割合で表記している。

【介護を受けたい場所】

(%)

全体		自宅	子どもや兄弟姉妹などの家	病院などの医療機関	設老人ホームなどの施設	その他	わからない	無回答
全体	全体 n= 1,428	25.0	1.4	14.0	40.3	0.5	15.2	3.7
性別	男性 n= 579	30.2	1.2	13.5	35.2	0.5	16.3	3.1
	女性 n= 836	21.6	1.6	14.5	43.9	0.4	14.2	3.8
年齢階層	10代 n= 34	17.4	0.0	17.4	39.1	0.0	26.1	0.0
	20代 n= 165	27.0	3.5	15.7	36.5	0.0	14.8	2.6
	30代 n= 197	25.7	0.7	5.4	51.4	0.7	12.2	4.1
	40代 n= 229	14.1	2.4	12.2	49.3	0.0	19.0	2.9
	50代 n= 197	21.5	0.8	16.3	39.0	0.4	19.9	2.0
	60代 n= 248	28.4	0.4	16.0	35.6	0.8	15.6	3.2
	70代以上 n= 351	31.0	1.4	16.6	34.3	0.7	10.7	5.4
年齢階層 (再掲)	60代以上 n= 598	29.9	1.0	16.3	34.8	0.7	12.7	4.5
世帯構成	ひとり暮らし n= 155	25.1	1.1	14.2	38.7	1.6	17.5	2.0
	夫婦のみ n= 331	31.6	0.7	12.9	38.6	0.6	11.6	4.0
	親・子の二世帯 n= 719	22.2	2.0	13.8	41.6	0.1	16.9	3.3
	親・子・孫の三世帯 n= 170	25.8	0.6	19.3	37.7	0.6	13.3	2.8
	その他 n= 37	21.1	0.0	6.7	46.2	0.0	13.5	12.4
同居の子ども	子どもがいる n= 608	24.0	1.5	13.7	42.1	0.3	15.1	3.3
	子どもはいない n= 805	25.8	1.2	14.3	39.3	0.6	15.1	3.7
居住地域① (県民局)	備前地域 n= 670	26.9	1.1	13.2	40.3	0.7	14.0	3.8
	備中地域 n= 578	25.1	2.0	14.2	39.8	0.2	15.9	2.7
	美作地域 n= 171	18.2	0.7	17.5	41.6	0.5	17.2	4.4
居住地域② (医療圏域)	県南東部 n= 670	26.9	1.1	13.2	40.3	0.7	14.0	3.8
	県南西部 n= 541	26.3	1.9	14.4	38.9	0.2	15.3	2.9
	高梁・新見 n= 37	7.0	3.1	12.0	52.7	0.0	25.2	0.0
	真庭 n= 39	17.1	2.8	26.2	38.3	2.1	13.6	0.0
	津山・英田 n= 132	18.6	0.0	14.9	42.6	0.0	18.3	5.7
居住年数	5年未満 n= 65	23.6	4.2	10.1	42.7	0.0	15.3	4.1
	5年以上10年未満 n= 51	22.0	2.6	7.9	48.7	2.6	11.5	4.7
	10年以上20年未満 n= 158	24.2	1.6	16.3	36.5	0.0	18.5	2.9
	20年以上 n= 1,141	25.6	1.2	14.4	40.1	0.5	14.9	3.4
職業	自営業(農林漁業、商工サービス業などで、家族従業者を含む) n= 122	31.0	0.7	15.7	36.0	0.6	15.4	0.7
	会社・団体などの正社員(正職員) n= 468	24.5	1.4	11.6	43.5	0.7	15.9	2.3
	会社・団体などの役員 n= 34	21.9	0.0	14.5	43.2	0.0	15.7	4.7
	パートタイマー、アルバイト、契約社員など n= 266	22.7	1.0	15.6	42.5	0.0	15.4	2.9
	専業主婦(主夫) n= 165	23.4	2.1	12.4	42.3	0.0	15.5	4.3
	学生 n= 51	22.6	0.0	19.9	31.5	0.0	25.9	0.0
	無職 n= 308	27.7	2.2	16.3	35.0	0.8	11.8	6.2

○介護を受けたい場所について

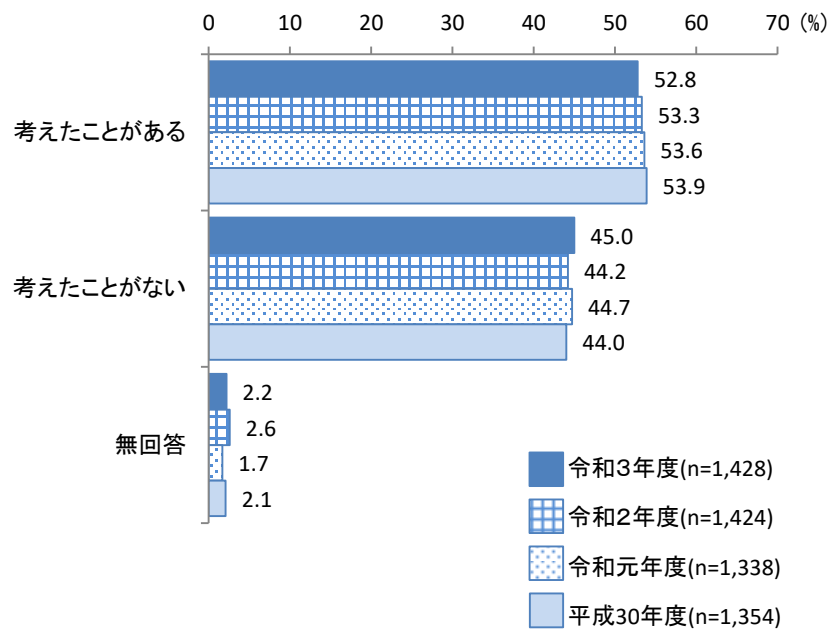
全体では「老人ホームなどの施設」との回答が最も高く、次いで「自宅」という順となっている。

性別にみると、女性では「老人ホームなどの施設」(43.9%)との回答が「自宅」(21.6%)との回答を20.0ポイント以上上回っているものの、男性では「老人ホームなどの施設」(35.2%)との回答が「自宅」(30.2%)との回答を5ポイント上回っているにすぎず、差はほとんどみられない。

年齢階層別にみると、「老人ホームなどの施設」との回答は30代、40代で約5割と高くなっている。

職業別にみても「老人ホームなどの施設」との回答が最も高くなっており、学生を除けば「自宅」との回答が2番目に多くなっている。学生では「わからない」(25.9%)との回答が、「自宅」(22.6%)との回答を3.3ポイント上回っており、「老人ホームなどの施設」に次いで高くなっている。

■問 21 あなたは、ご自身の死が近い場合に受けたい医療や受けたくない医療について、これまで考えたことがありますか。あてはまる番号1つに○印をつけてください。



○前年度との比較

◆上昇

「考えたことがない」(前年度差 0.8)

◆低下

「考えたことがある」(前年度差▲0.5)

【死が近い場合の医療について考えた経験】

(%)

		全 体	考 え た こ と が あ る	考 え た こ と が な い	無 回 答
全体	全体 n= 1,428	52.8	45.0	2.2	
性別	男性 n= 579	44.5	52.8	2.7	
	女性 n= 836	59.0	39.3	1.7	
年齢階層	10代 n= 34	30.4	69.6	0.0	
	20代 n= 165	34.8	63.5	1.7	
	30代 n= 197	43.2	54.7	2.0	
	40代 n= 229	51.7	48.3	0.0	
	50代 n= 197	53.4	45.4	1.2	
	60代 n= 248	65.2	32.0	2.8	
	70代以上 n= 351	60.8	35.2	4.0	
年齢階層	(再掲) 60代以上 n= 598	62.6	33.9	3.5	
世帯構成	ひとり暮らし n= 155	56.2	42.8	1.1	
	夫婦のみ n= 331	57.8	39.5	2.8	
	親・子の二世帯 n= 719	49.9	48.2	1.9	
	親・子・孫の三世帯 n= 170	53.0	44.6	2.4	
	その他 n= 37	50.3	44.8	4.9	
同居の子ども	子どもがいる n= 608	54.8	43.2	2.0	
	子どもはいない n= 805	51.5	46.2	2.2	
居住地域① (県民局)	備前地域 n= 670	56.1	41.9	2.0	
	備中地域 n= 578	49.3	48.5	2.2	
	美作地域 n= 171	51.6	46.4	2.0	
居住地域② (医療圏域)	県南東部 n= 670	56.1	41.9	2.0	
	県南西部 n= 541	49.0	48.6	2.3	
	高梁・新見 n= 37	53.7	46.3	0.0	
	真庭 n= 39	60.5	39.5	0.0	
	津山・英田 n= 132	49.0	48.4	2.6	
居住年数	5年未満 n= 65	51.7	47.1	1.2	
	5年以上10年未満 n= 51	49.0	48.4	2.6	
	10年以上20年未満 n= 158	49.6	49.8	0.6	
	20年以上 n= 1,141	53.4	44.3	2.3	
職業	自営業(農林漁業、商工サービス業などで、家族従業者を含む) n= 122	54.7	42.2	3.1	
	会社・団体などの正社員(正職員) n= 468	47.1	51.7	1.2	
	会社・団体などの役員 n= 34	59.4	40.6	0.0	
	パートタイマー、アルバイト、契約社員など n= 266	52.3	47.0	0.7	
	専業主婦(主夫) n= 165	61.9	36.5	1.6	
	学生 n= 51	37.0	63.0	0.0	
	無職 n= 308	57.9	37.1	5.0	

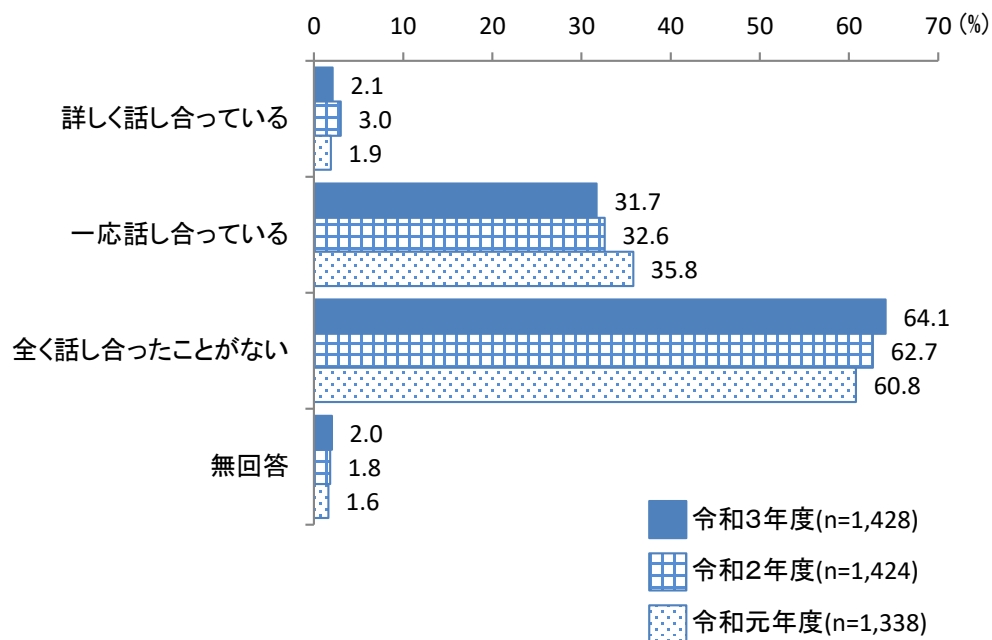
○死が近い場合の医療について考えた経験について

全体では「考えたことがある」(52.8%)が「考えたことがない」(45.0%)を7.8ポイント上回っている。性別にみると、男性は「考えたことがない」との回答が、「考えたことがある」との回答より高くなっており、女性に比べ男性の関心が低いことがうかがえる。

年齢階層別にみると、40代以上で「考えたことがある」との回答が高くなり、60代と70代以上では6割を超えている。

職業別でみると、会社・団体などの正社員(正職員)と学生で「考えたことがない」との回答が「考えたことがある」との回答を上回っている。

■問 22 あなたは、ご自身の死が近い場合に受けたい医療や受けたくない医療について、ご家族又は医療介護関係者などとのくらい話し合ったことがありますか。あてはまる番号1つに○印をつけてください。



○前年度との比較

◆上昇

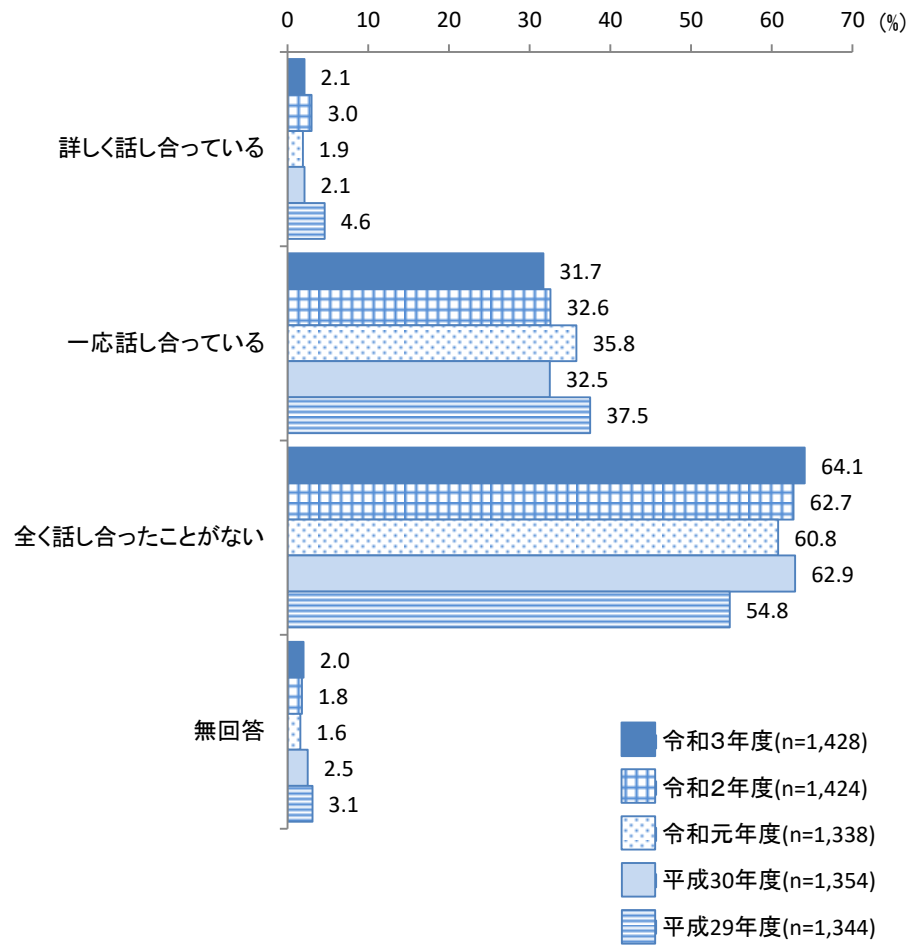
「全く話し合ったことがない」(前年度差 1.4)

◆低下

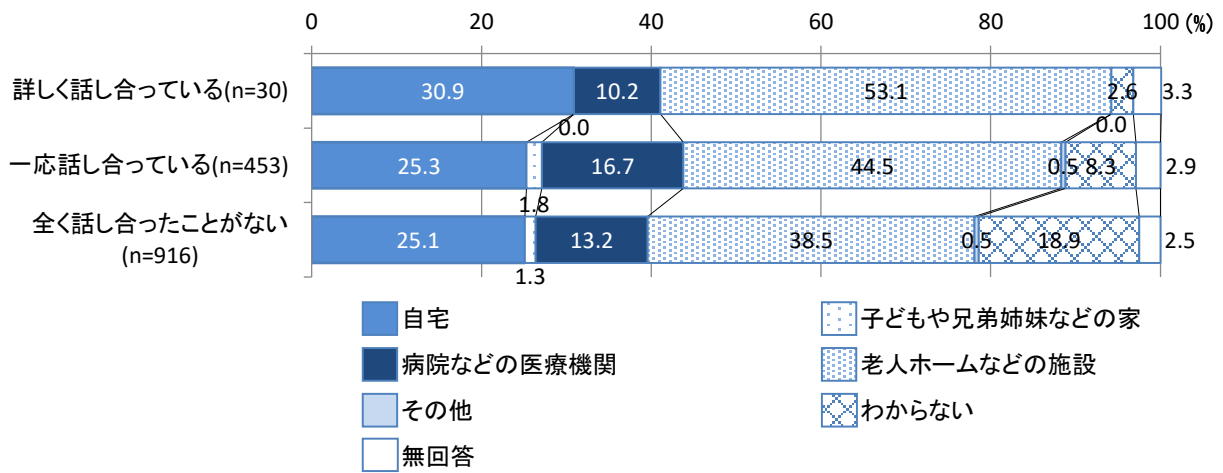
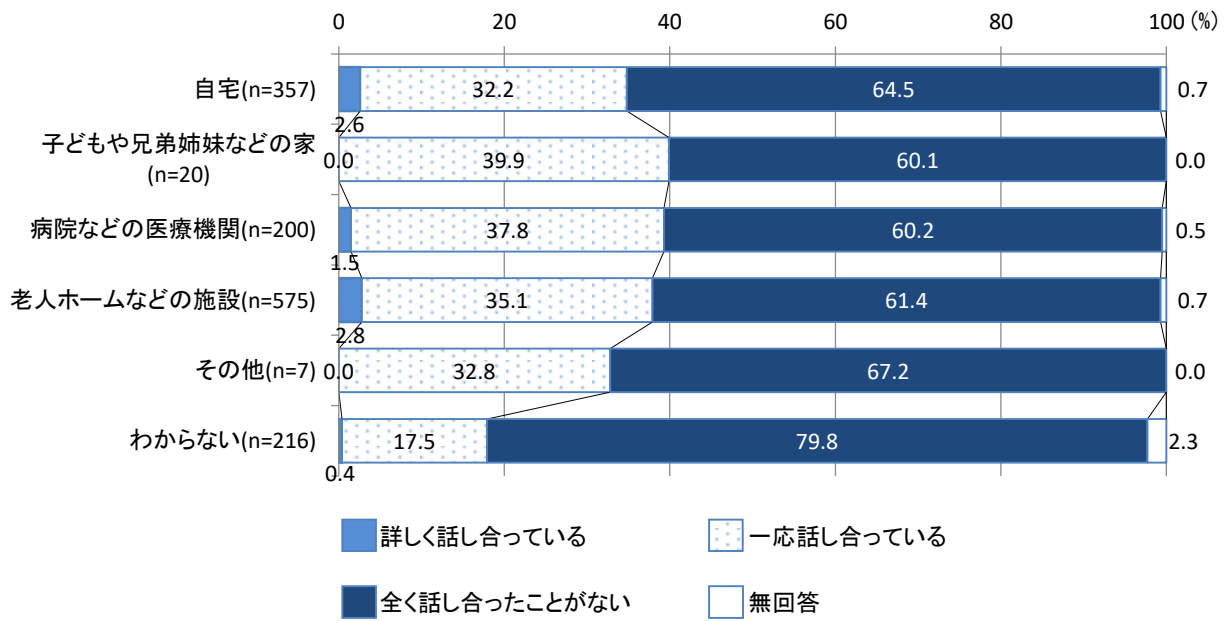
「詳しく話し合っている」(前年度差▲0.9)

「一応話し合っている」(前年度差▲0.9)

<経年比較>



<問 20 とのクロス集計>



【死が近い場合の医療に関する家族などとの話し合い】

(%)

	全 体	詳 しく 話 し 合 っ て い る	一 応 話 し 合 っ て い る	全 く 話 し 合 っ た こ と が な い	無 回 答
全体	全体 n= 1,428	2.1	31.7	64.1	2.0
性別	男性 n= 579	1.2	29.7	67.0	2.1
	女性 n= 836	2.7	33.6	62.0	1.7
年齢階層	10代 n= 34	0.0	8.7	91.3	0.0
	20代 n= 165	0.9	12.2	86.1	0.9
	30代 n= 197	1.4	25.0	72.3	1.4
	40代 n= 229	2.0	22.9	74.6	0.5
	50代 n= 197	2.0	29.9	66.9	1.2
	60代 n= 248	3.6	40.4	54.0	2.0
	70代以上 n= 351	2.6	48.0	45.5	4.0
年齢階層 (再掲)	60代以上 n= 598	3.0	44.9	49.0	3.2
世帯構成	ひとり暮らし n= 155	3.0	28.3	66.3	2.4
	夫婦のみ n= 331	3.1	43.2	51.9	1.8
	親・子の二世帯 n= 719	1.7	27.3	69.6	1.4
	親・子・孫の三世帯 n= 170	1.5	34.8	61.4	2.3
	その他 n= 37	2.2	22.2	70.7	4.9
同居の子ども	子どもがいる n= 608	2.0	33.1	63.5	1.4
	子どもはいない n= 805	2.1	30.9	65.0	2.0
居住地域① (県民局)	備前地域 n= 670	2.4	32.5	63.8	1.4
	備中地域 n= 578	1.8	31.1	65.2	2.0
	美作地域 n= 171	2.0	32.2	62.8	3.0
居住地域② (医療圏域)	県南東部 n= 670	2.4	32.5	63.8	1.4
	県南西部 n= 541	1.9	31.2	64.9	2.1
	高梁・新見 n= 37	0.0	30.2	69.8	0.0
	真庭 n= 39	0.0	48.5	51.5	0.0
	津山・英田 n= 132	2.6	27.4	66.1	3.9
居住年数	5年未満 n= 65	4.3	17.7	76.8	1.2
	5年以上10年未満 n= 51	0.0	41.0	56.4	2.6
	10年以上20年未満 n= 158	1.7	21.2	76.5	0.6
	20年以上 n= 1,141	2.1	33.8	62.2	2.0
職業	自営業(農林漁業、商工サービス業などで、家族従業者を含む) n= 122	3.7	43.1	51.5	1.7
	会社・団体などの正社員(正職員) n= 468	1.0	23.5	74.8	0.7
	会社・団体などの役員 n= 34	0.0	42.4	57.6	0.0
	パートタイマー、アルバイト、契約社員など n= 266	1.8	28.4	68.1	1.7
	専業主婦(主夫) n= 165	3.8	38.3	56.8	1.1
	学生 n= 51	2.8	14.1	83.1	0.0
	無職 n= 308	2.3	41.4	51.8	4.6

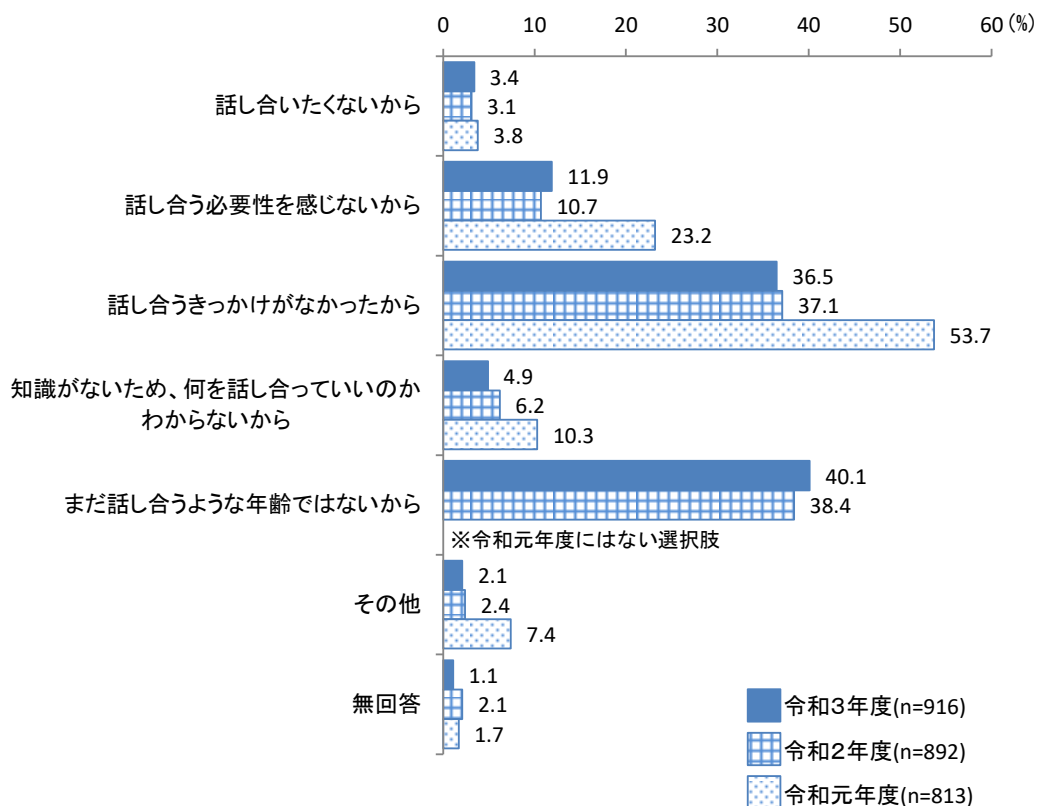
○死が近い場合の医療に関する家族などとの話し合いについて

全体では「全く話し合ったことがない」との回答が6割を超え最も高くなっている。

性別にみると、「一応話し合っている」との回答は女性(33.6%)が男性(29.7%)を3.9ポイント上回っている。

年齢階層別にみると、「全く話し合ったことがない」との回答は10代で9割を超え最も高く、年齢が上がるにつれて低くなる傾向がみられ、70代以上では「一応話し合っている」(48.0%)が「全く話し合ったことがない」(45.5%)を2.5ポイント上回っている。

■問 22-1 問 22 で「3. 全く話し合ったことがない」に○印をつけた方におたずねします。
話し合ったことがない理由は何ですか。あてはまる番号 1 つに○印をつけてください。



○前年度との比較

◆上昇

- 「話し合いたくないから」(前年度差 0.3)
- 「話し合う必要性を感じないから」(前年度差 1.2)
- 「まだ話し合うような年齢ではないから」(前年度差 1.7)

◆低下

- 「話し合うきっかけがなかったから」(前年度差▲0.6)
- 「知識がないため、何を話し合っているかわからないから」(前年度差▲1.3)
- 「その他」(前年度差▲0.3)

【死が近い場合の医療に関する話し合いをしたことのない理由】

		(%)							
全体		話し合いしたくないから	話し合う必要を感じないから	話し合うきっかけがなかったから	知識がなかったため、何を話しかけていいかわからないから	年齢ではないから	まだ話し合うような年齢ではないから	その他	無回答
全体	全体 n= 916	3.4	11.9	36.5	4.9	40.1	2.1	1.1	
性別	男性 n= 388	5.0	14.7	30.3	4.5	43.1	1.9	0.4	
	女性 n= 519	2.0	10.0	41.6	5.2	37.6	2.0	1.5	
年齢階層	10代 n= 31	0.0	14.3	19.0	4.8	61.9	0.0	0.0	
	20代 n= 142	2.0	4.0	28.3	6.1	58.6	0.0	1.0	
	30代 n= 143	1.9	6.5	25.2	3.7	58.9	1.9	1.9	
	40代 n= 171	0.0	7.2	42.5	4.6	44.4	0.7	0.7	
	50代 n= 132	4.2	11.3	38.1	6.5	36.9	2.4	0.6	
	60代 n= 134	6.7	14.8	43.7	1.5	29.6	2.2	1.5	
	70代以上 n= 159	6.2	26.7	43.6	7.2	9.7	5.1	1.5	
年齢階層 (再掲)	60代以上 n= 293	6.4	21.3	43.6	4.6	18.8	3.8	1.5	
世帯構成	ひとり暮らし n= 103	3.3	16.1	40.8	3.7	28.6	5.4	2.2	
	夫婦のみ n= 172	5.6	10.8	39.2	5.7	35.2	1.9	1.5	
	親・子の二世帯 n= 500	2.3	11.4	35.7	4.6	44.0	1.1	0.8	
	親・子・孫の三世帯 n= 104	1.5	14.9	26.6	6.4	48.4	0.9	1.3	
	その他 n= 26	11.1	6.2	46.1	7.3	18.9	10.5	0.0	
同居の子ども	子どもがいる n= 386	1.6	12.1	38.5	3.4	41.0	2.0	1.4	
	子どもはいない n= 523	4.5	11.5	35.2	6.1	39.5	2.2	0.9	
居住地域① (県民局)	備前地域 n= 428	2.8	12.0	36.8	5.0	40.6	1.8	1.0	
	備中地域 n= 377	3.6	11.7	34.6	5.1	42.3	1.9	0.8	
	美作地域 n= 108	4.1	12.6	41.5	4.6	30.6	3.8	2.9	
居住地域② (医療圏域)	県南東部 n= 428	2.8	12.0	36.8	5.0	40.6	1.8	1.0	
	県南西部 n= 351	3.9	11.8	34.9	5.4	41.1	2.0	0.9	
	高梁・新見 n= 25	0.0	10.9	30.7	0.0	58.5	0.0	0.0	
	真庭 n= 20	4.0	10.4	43.6	0.0	37.9	0.0	4.0	
	津山・英田 n= 87	4.1	13.1	41.0	5.7	28.9	4.6	2.6	
居住年数	5年未満 n= 50	3.2	1.6	40.6	5.3	46.5	0.0	2.9	
	5年以上10年未満 n= 29	4.6	6.6	40.7	5.0	37.6	2.8	2.7	
	10年以上20年未満 n= 121	0.6	11.5	36.2	3.3	46.8	0.0	1.6	
	20年以上 n= 709	3.7	12.8	36.1	5.2	38.7	2.6	0.9	
職業	自営業(農林漁業、商工サービス業などで、家族従業者を含む) n= 63	3.4	18.2	41.2	4.8	29.5	1.3	1.6	
	会社・団体などの正社員(正職員) n= 350	2.3	7.4	31.7	5.7	51.3	1.4	0.2	
	会社・団体などの役員 n= 20	0.0	13.9	50.8	0.0	35.3	0.0	0.0	
	パートタイマー、アルバイト、契約社員など n= 182	1.2	10.7	43.0	3.5	39.6	0.0	2.1	
	専業主婦(主夫) n= 94	4.9	10.6	43.6	5.2	29.8	5.9	0.0	
	学生 n= 42	0.0	3.5	20.6	0.0	75.9	0.0	0.0	
	無職 n= 160	8.1	24.0	35.6	6.8	18.2	4.2	3.1	

○死が近い場合の医療に関する話し合いをしたことのない理由について

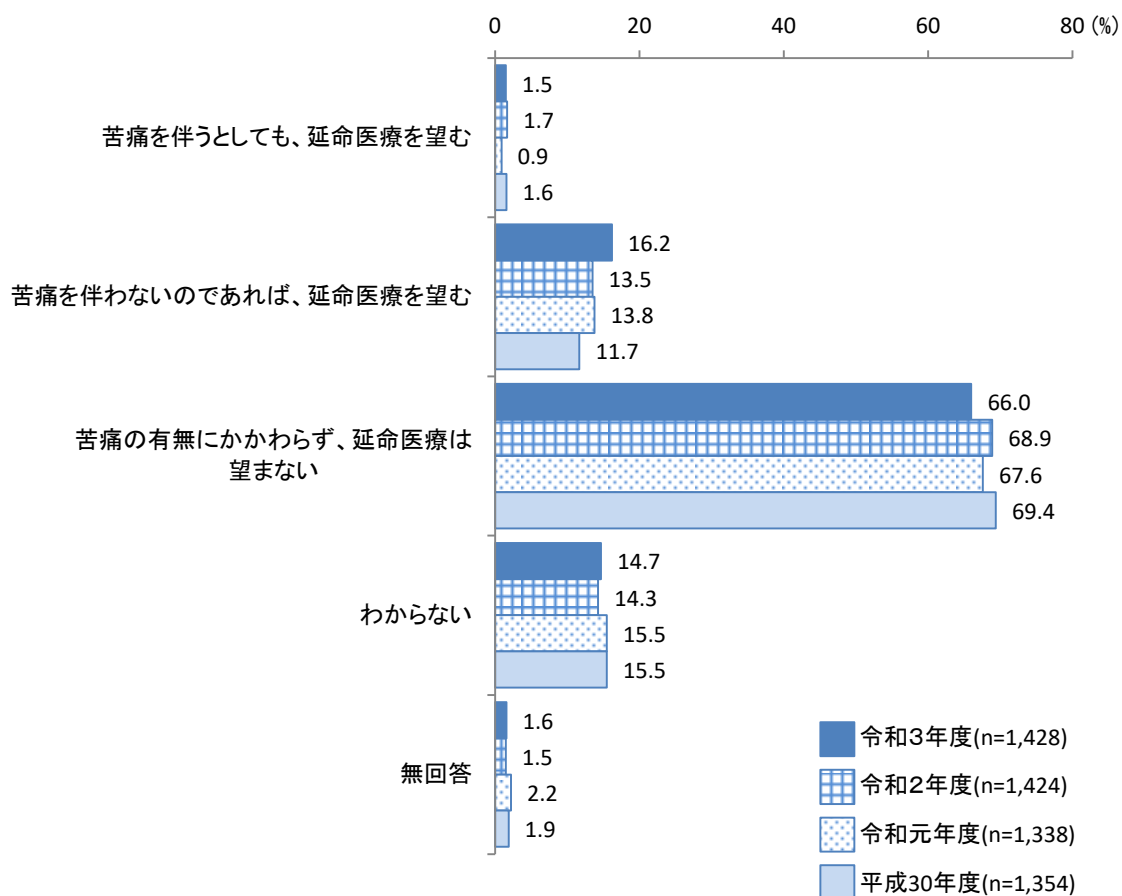
全体では、「まだ話し合うような年齢ではないから」との回答が約4割と高くなっている。

性別にみると、男性で「まだ話し合うような年齢ではないから」との回答が最も多く、女性では「話し合うきっかけがなかったから」との回答が最も高い。

年齢階層別にみると、10～40代までで「まだ話し合うような年齢ではないから」との回答が高く、50～70代以上では「話し合うきっかけがなかったから」との回答が高くなっている。

職業別にみると、会社・団体などの正社員と学生で「まだ話し合うような年齢ではないから」との回答が「話し合うきっかけがなかったから」との回答を上回っている。

■問 23 あなたは、ご自身の死が目前に迫っており、どのような治療によっても回復する見込みがない場合に、延命医療を望みますか。あてはまる番号1つに○印をつけてください。



○前年度との比較

◆上昇

「苦痛を伴わないのであれば、延命医療を望む」(前年度差 2.7)

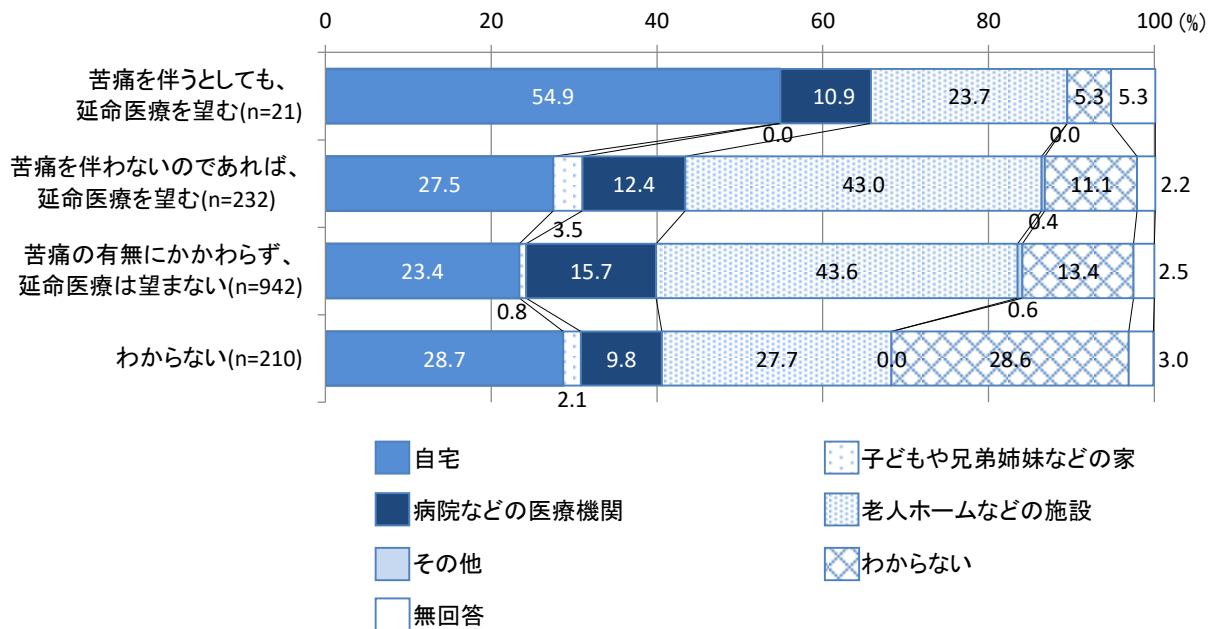
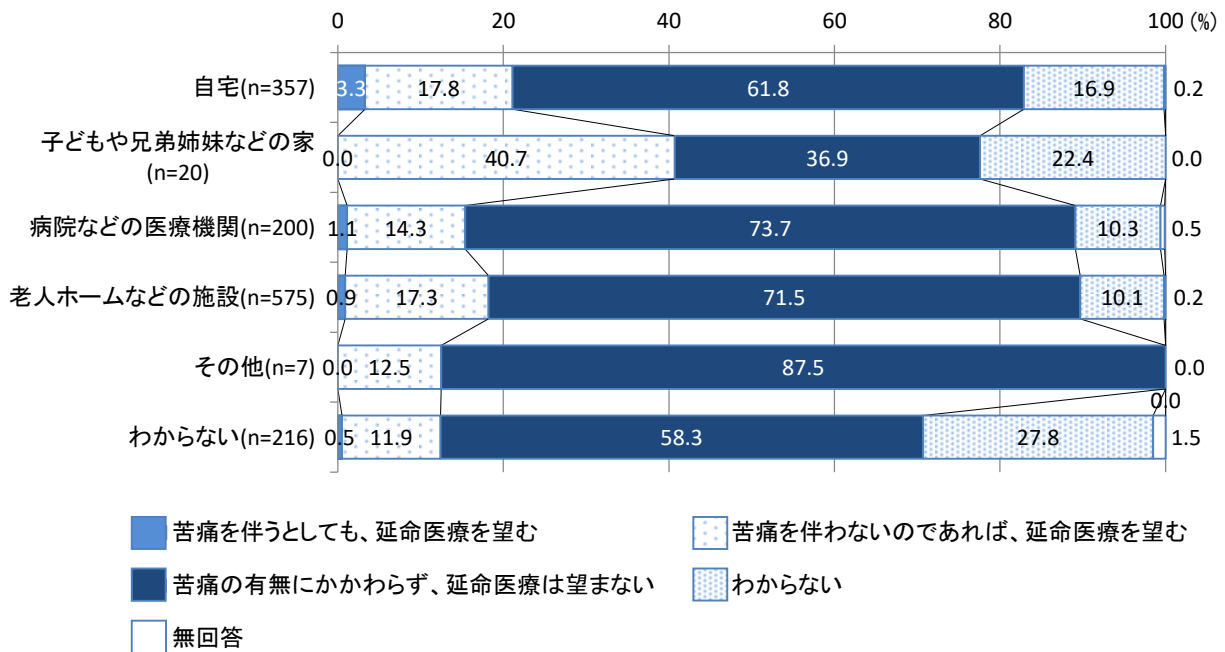
「わからない」(前年度差 0.4)

◆低下

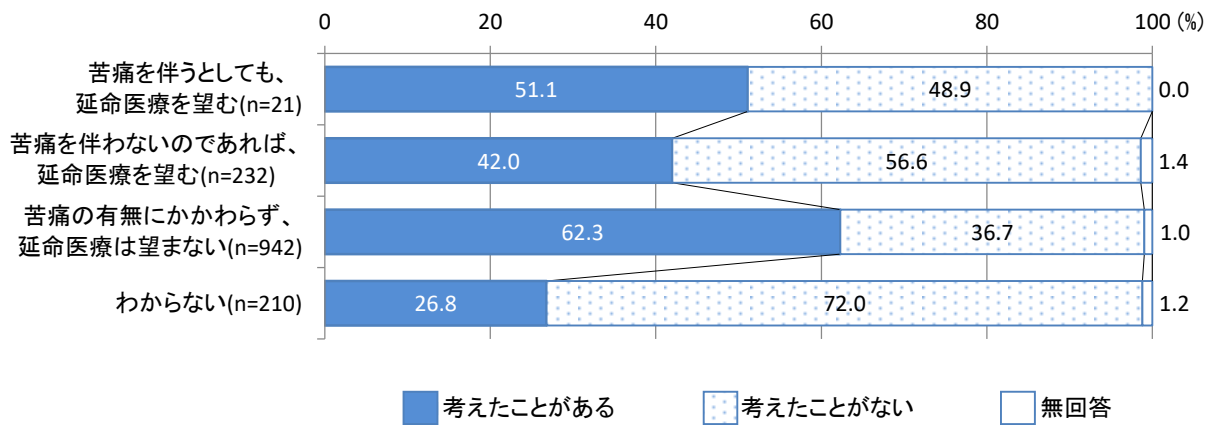
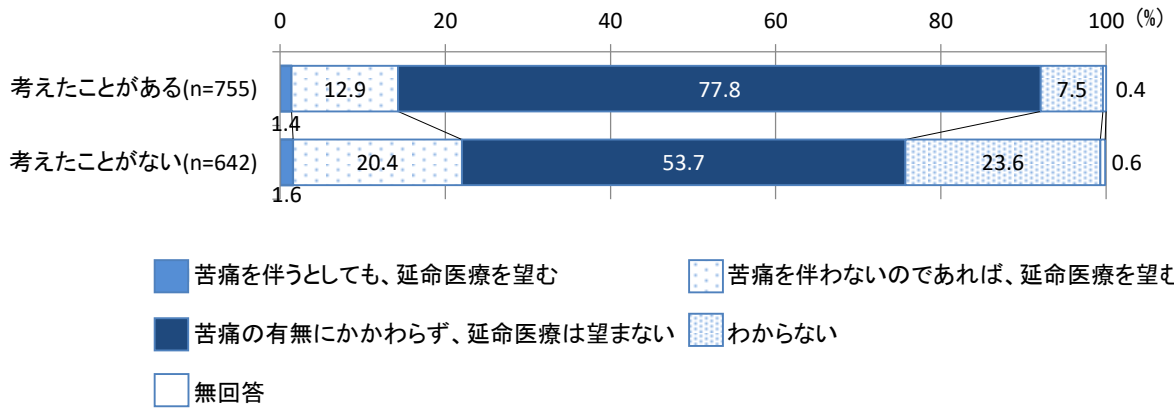
「苦痛を伴うとしても、延命医療を望む」(前年度差 ▲0.2)

「苦痛の有無にかかわらず、延命医療は望まない」(前年度差 ▲2.9)

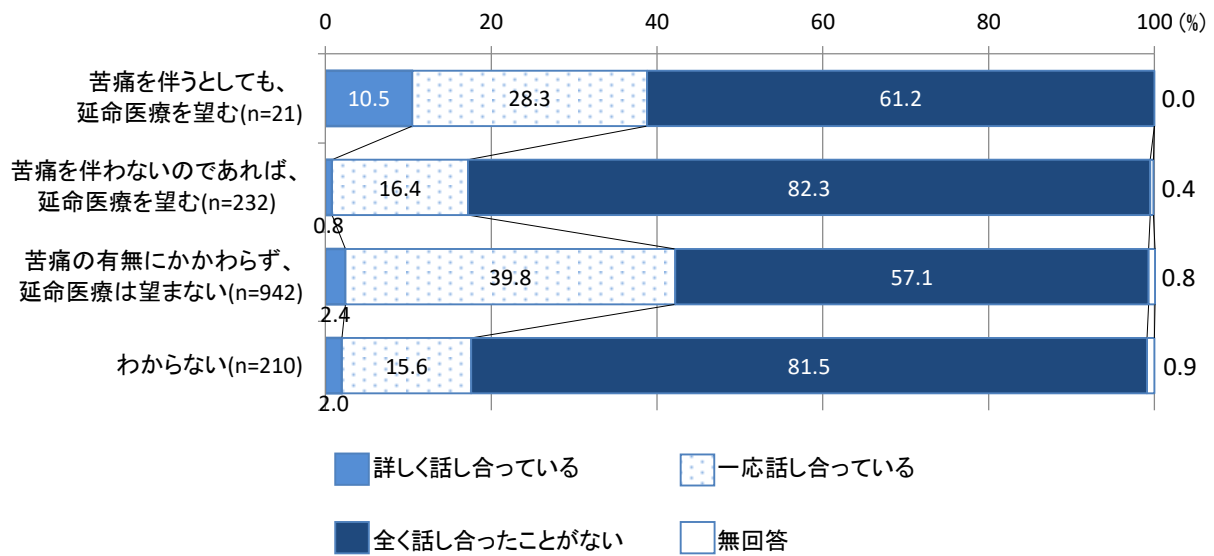
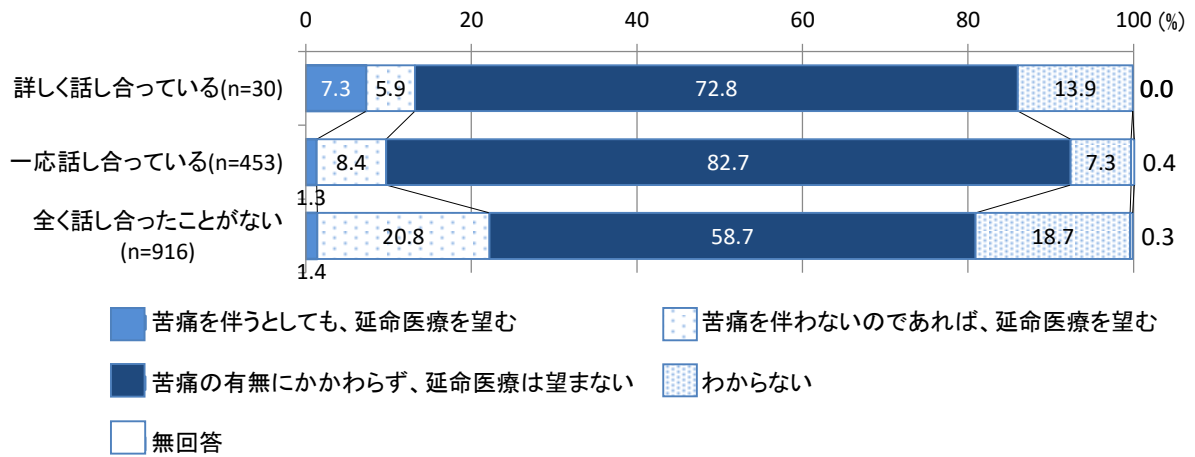
<問 20 とのクロス集計>



<問 21 とのクロス集計>



<問 22 とのクロス集計>



【余命が短い場合の延命医療の意向】

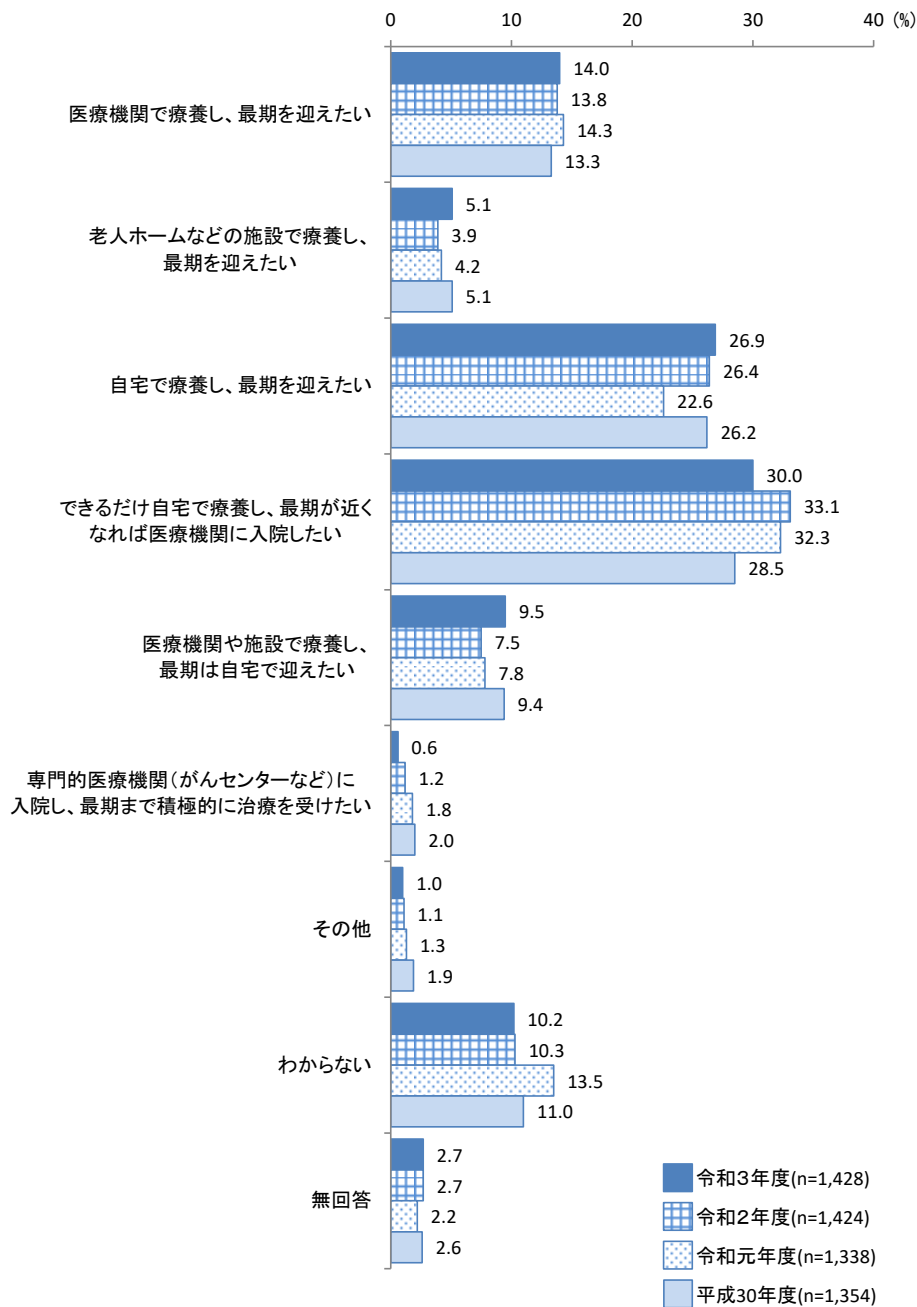
(%)

	全体	も、苦痛を伴うとして望む	望む あれば、延命医療を望む	苦痛を伴わないので望む	望まない、延命医療はかかわらない	わからない	無回答
全体	全体 n= 1,428	1.5	16.2	66.0	14.7	1.6	
性別	男性 n= 579	2.0	17.6	63.8	15.1	1.4	
	女性 n= 836	1.1	15.1	67.6	14.5	1.6	
年齢階層	10代 n= 34	4.3	17.4	43.5	34.8	0.0	
	20代 n= 165	2.6	27.0	43.5	26.1	0.9	
	30代 n= 197	2.0	27.0	53.4	16.9	0.7	
	40代 n= 229	2.4	19.0	66.8	11.2	0.5	
	50代 n= 197	1.2	11.6	73.7	12.7	0.8	
	60代 n= 248	0.4	11.2	75.2	11.2	2.0	
70代以上 n= 351	0.7	9.1	74.8	12.1	3.3		
年齢階層 (再掲)	60代以上 n= 598	0.6	10.0	75.0	11.7	2.7	
世帯構成	ひとり暮らし n= 155	2.0	12.5	69.3	15.0	1.2	
	夫婦のみ n= 331	0.4	17.6	70.8	9.5	1.8	
	親・子の二世帯 n= 719	2.1	17.7	62.1	16.5	1.5	
	親・子・孫の三世帯 n= 170	0.8	10.9	73.7	13.2	1.3	
	その他 n= 37	0.0	7.8	61.4	28.1	2.7	
同居の子ども	子どもがいる n= 608	1.5	15.5	67.9	14.1	0.9	
	子どもはいない n= 805	1.3	16.8	65.0	15.0	1.9	
居住地域① (県民局)	備前地域 n= 670	1.7	16.4	66.6	13.9	1.4	
	備中地域 n= 578	1.2	17.1	64.2	16.0	1.4	
	美作地域 n= 171	0.8	12.1	71.1	14.1	2.0	
居住地域② (医療圏域)	県南東部 n= 670	1.7	16.4	66.6	13.9	1.4	
	県南西部 n= 541	1.2	17.8	63.1	16.4	1.5	
	高梁・新見 n= 37	2.2	7.5	81.0	9.4	0.0	
	真庭 n= 39	0.0	7.7	79.4	13.0	0.0	
	津山・英田 n= 132	1.0	13.3	68.7	14.4	2.6	
居住年数	5年未満 n= 65	3.9	19.9	57.5	17.5	1.2	
	5年以上10年未満 n= 51	1.6	18.5	65.3	14.6	0.0	
	10年以上20年未満 n= 158	2.3	15.5	59.9	21.7	0.6	
	20年以上 n= 1,141	1.1	15.9	67.6	13.6	1.7	
職業	自営業(農林漁業、商工サービス業などで、家族従業者を含む) n= 122	0.9	14.0	75.0	10.1	0.0	
	会社・団体などの正社員(正職員) n= 468	1.5	23.6	61.8	12.6	0.5	
	会社・団体などの役員 n= 34	3.3	8.9	78.3	9.5	0.0	
	パートタイマー、アルバイト、契約社員など n= 266	1.2	13.0	65.0	19.2	1.7	
	専業主婦(主夫) n= 165	1.4	11.7	69.2	16.2	1.6	
	学生 n= 51	2.8	17.2	54.1	25.8	0.0	
無職 n= 308	1.2	11.6	69.2	14.2	3.8		

○余命が短い場合の延命医療の意向について

全体では「苦痛の有無にかかわらず、延命医療は望まない」との回答が6割台半ばと最も高くなっている。年齢階層別にみると、「苦痛の有無にかかわらず、延命医療は望まない」との回答がどの年代でも最も高くなっているが、50代以上で7割を上回る一方で、10代と20代では5割を下回っている。職業別にみると、会社・団体などの正社員(正職員)では「苦痛を伴わないのであれば、延命医療を望む」との回答が、学生では「わからない」との回答が、それぞれ他の職業と比べて高くなっている。

■問 24 あなたの余命が残り少ない（6ヶ月より短い期間）と告げられた場合、どこで療養し、最期を迎えたいですか。最もあてはまる番号1つに○印をつけてください。



○前年度との比較

◆上昇

「医療機関で療養し、最期を迎えたい」(前年度差 0.2)

「老人ホームなどの施設で療養し、最期を迎えたい」(前年度差 1.2)

「自宅で療養し、最期を迎えたい」(前年度差 0.5)

「医療機関や施設で療養し、最期は自宅で迎えたい」(前年度差 2.0)

◆低下

「できるだけ自宅で療養し、最期が近くなれば医療機関に入院したい」(前年度差▲3.1)

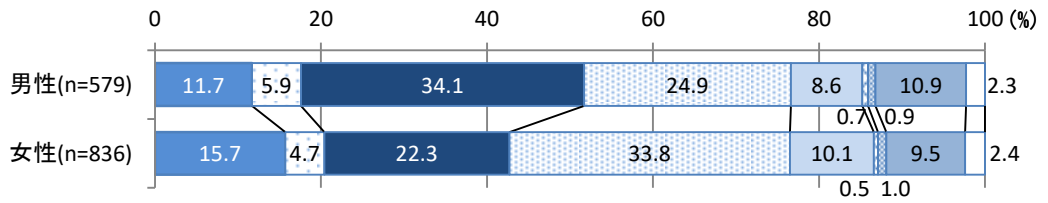
「専門的医療機関(がんセンターなど)に入院し、最期まで積極的に治療を受けたい」

(前年度差▲0.6)

「その他」(前年度差▲0.1)

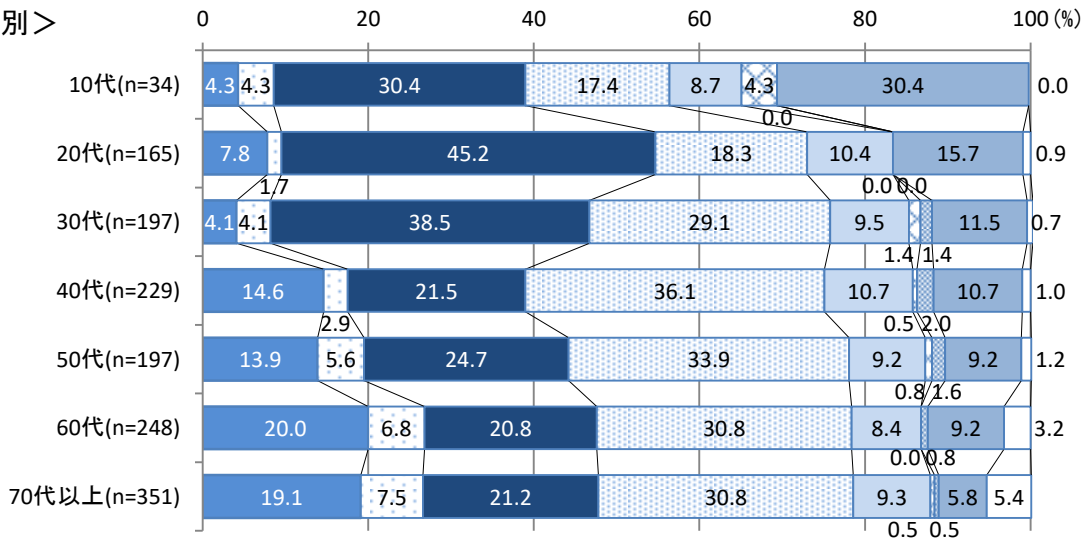
「わからない」(前年度差▲0.1)

<性別>



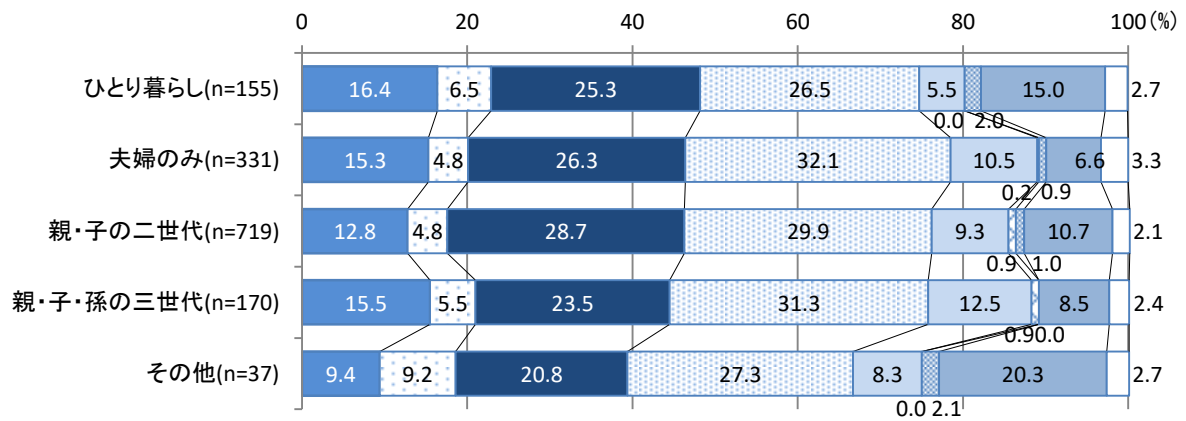
- 医療機関で療養し、最期を迎えたい
- 老人ホームなどの施設で療養し、最期を迎えたい
- 自宅で療養し、最期を迎えたい
- できるだけ自宅で療養し、最期が近くなれば医療機関に入院したい
- 医療機関や施設で療養し、最期は自宅で迎えたい
- 専門的医療機関(がんセンターなど)に入院し、最期まで積極的に治療を受けたい
- その他
- わからない
- 無回答

<年齢階層別>



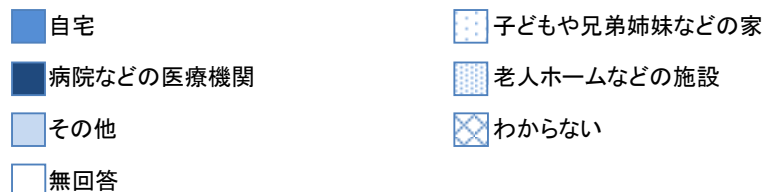
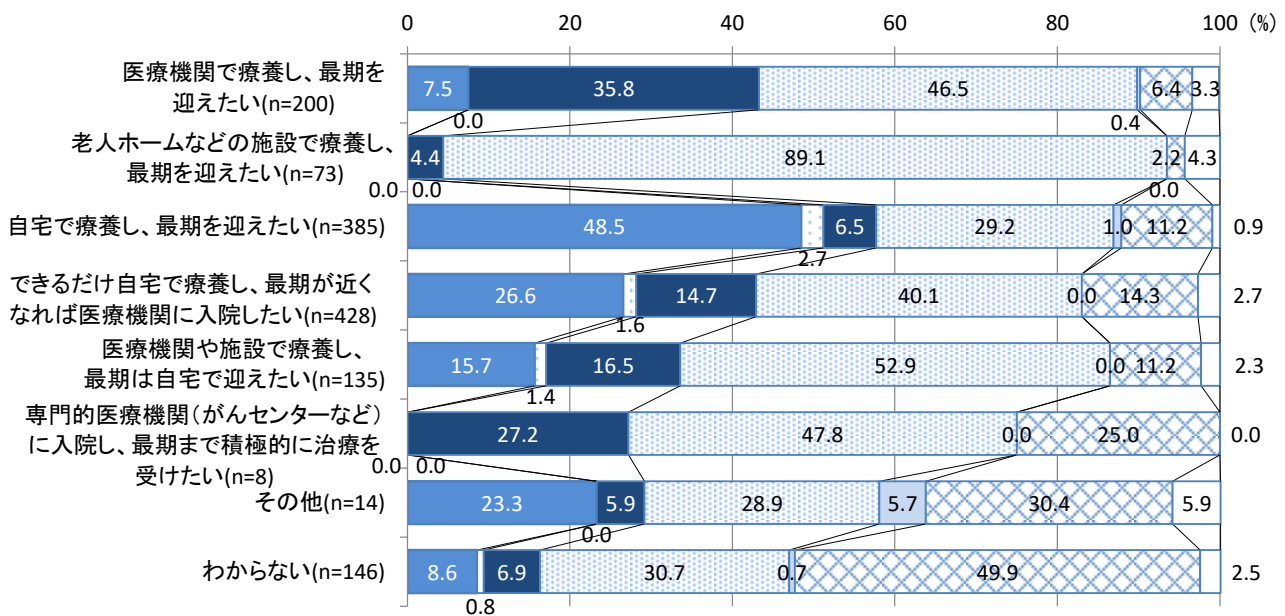
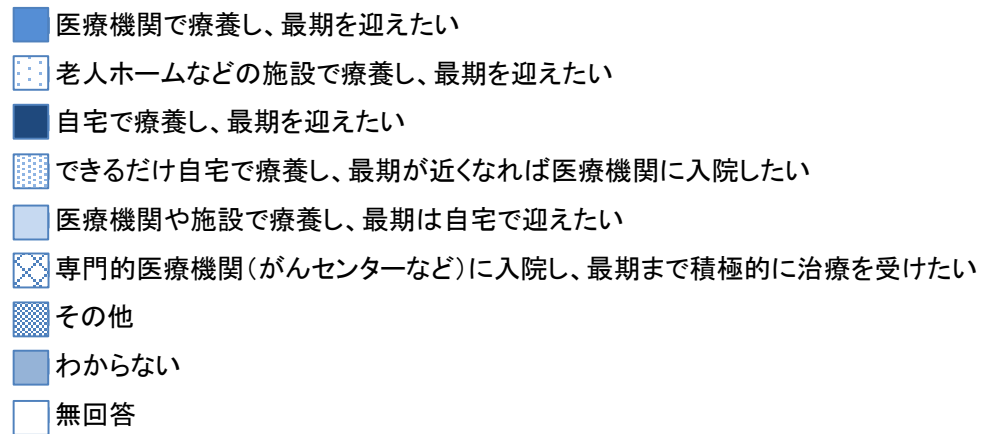
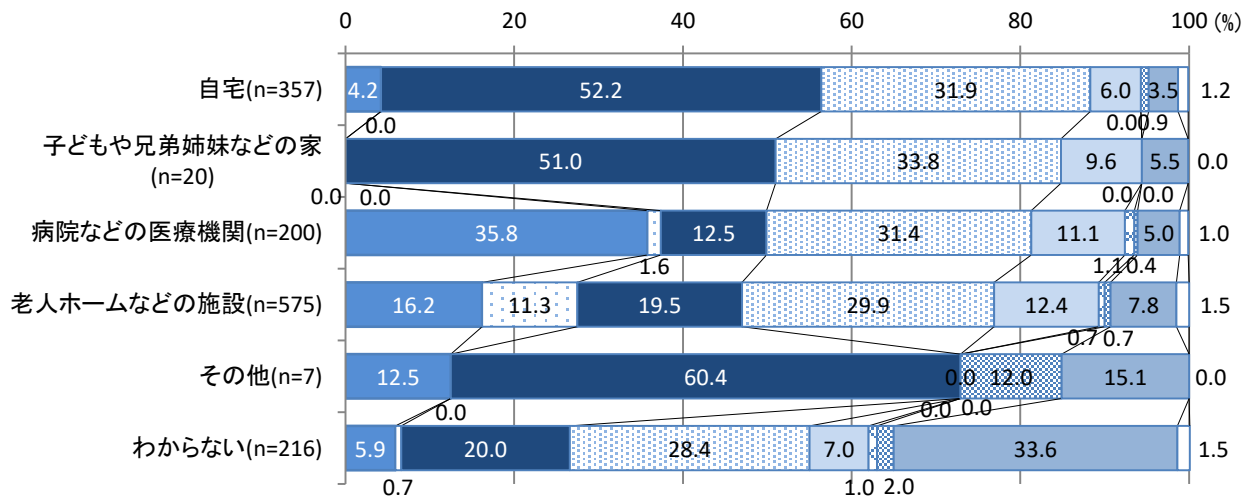
- 医療機関で療養し、最期を迎えたい
- 老人ホームなどの施設で療養し、最期を迎えたい
- 自宅で療養し、最期を迎えたい
- できるだけ自宅で療養し、最期が近くなれば医療機関に入院したい
- 医療機関や施設で療養し、最期は自宅で迎えたい
- 専門的医療機関(がんセンターなど)に入院し、最期まで積極的に治療を受けたい
- その他
- わからない
- 無回答

<世帯構成別>

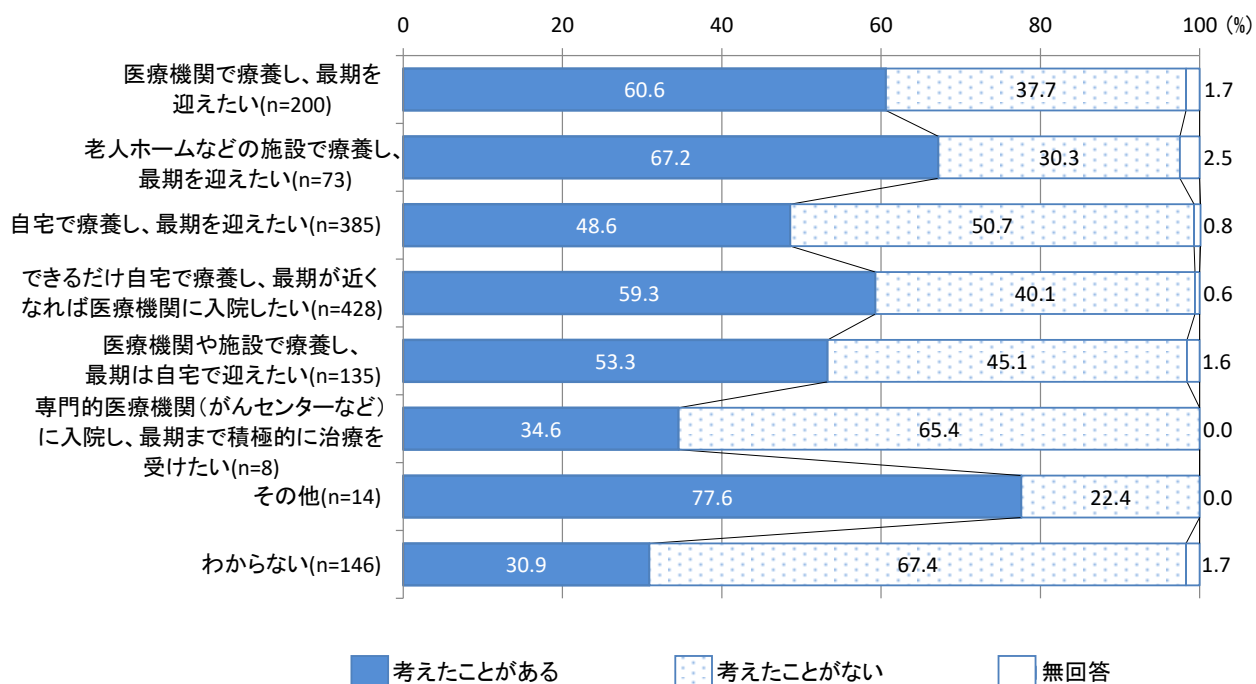
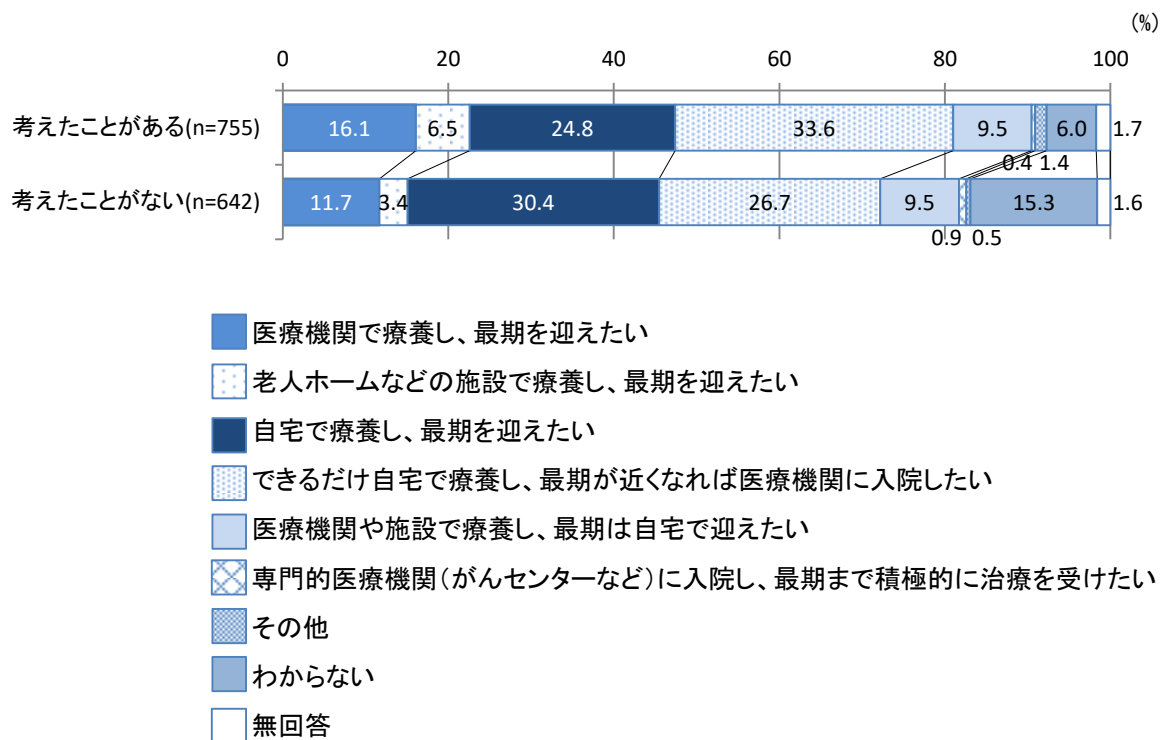


- 医療機関で療養し、最期を迎えたい
- 老人ホームなどの施設で療養し、最期を迎えたい
- 自宅で療養し、最期を迎えたい
- できるだけ自宅で療養し、最期が近くなれば医療機関に入院したい
- 医療機関や施設で療養し、最期は自宅で迎えたい
- 専門的医療機関(がんセンターなど)に入院し、最期まで積極的に治療を受けたい
- その他
- わからない
- 無回答

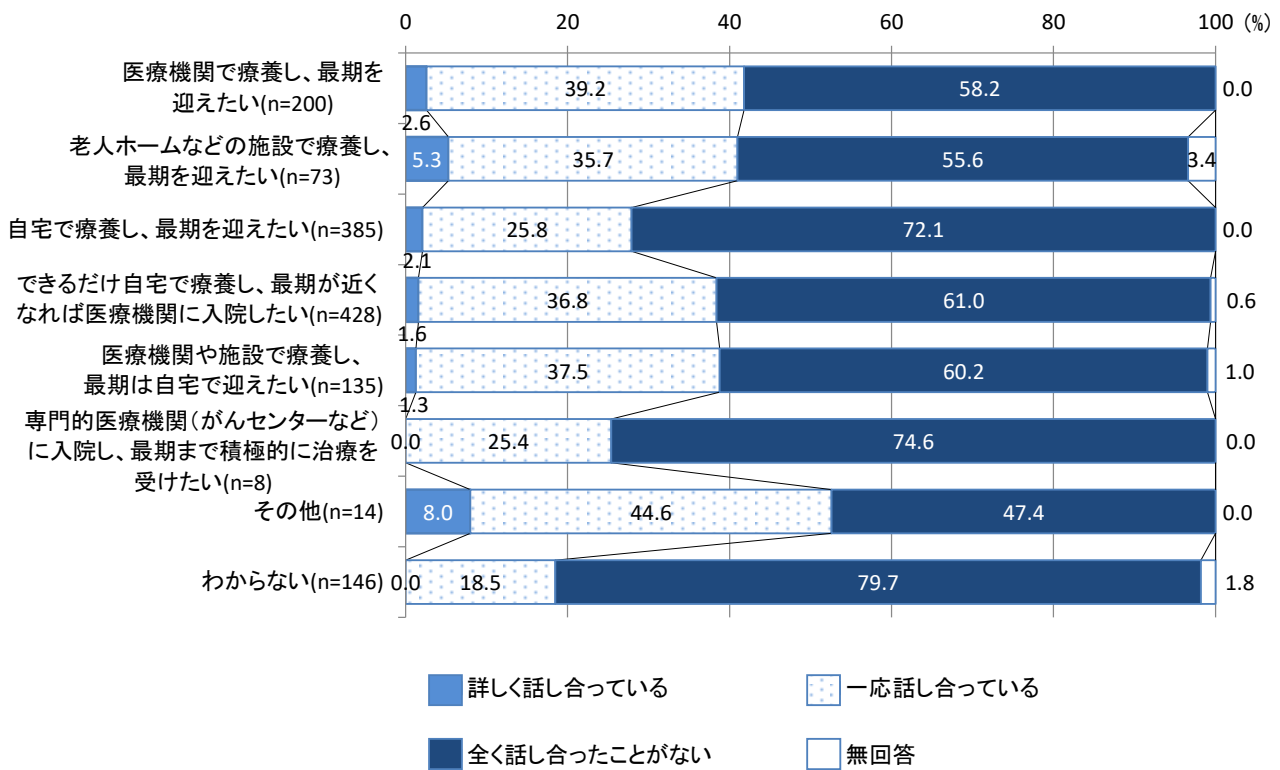
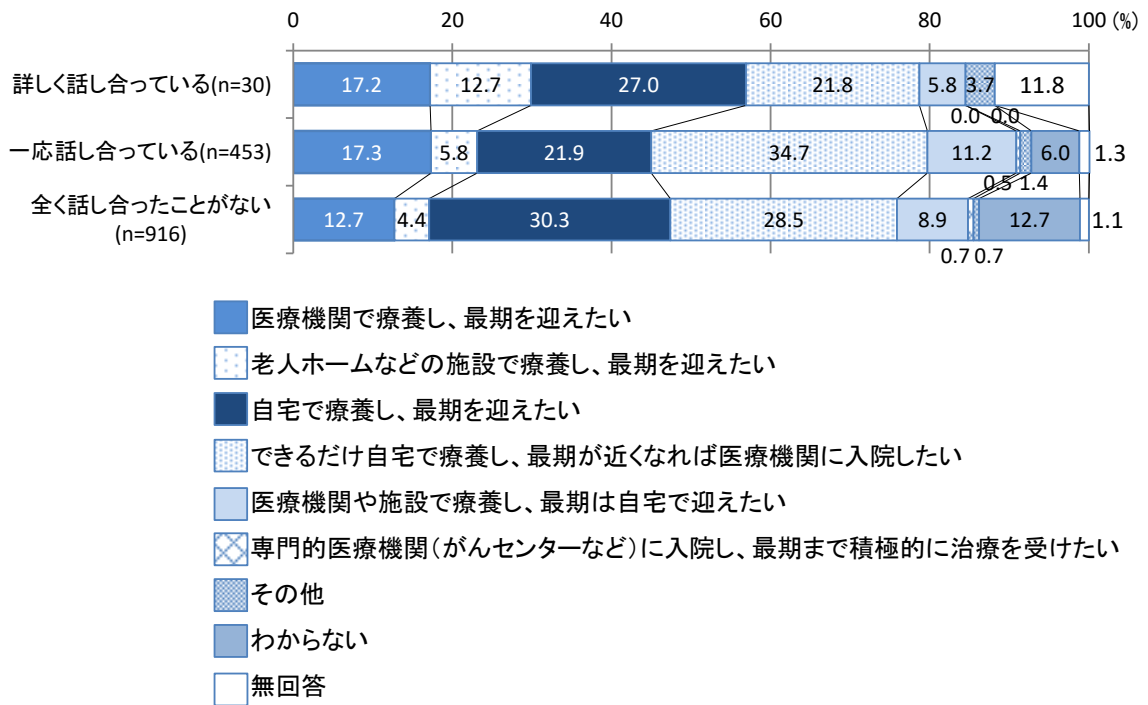
<問 20 とのクロス集計>



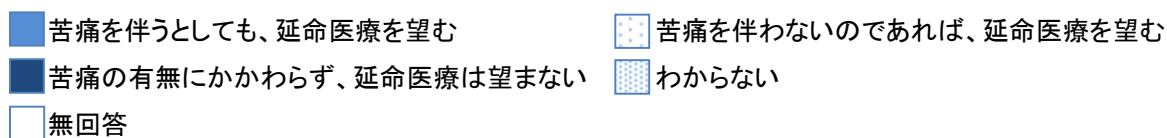
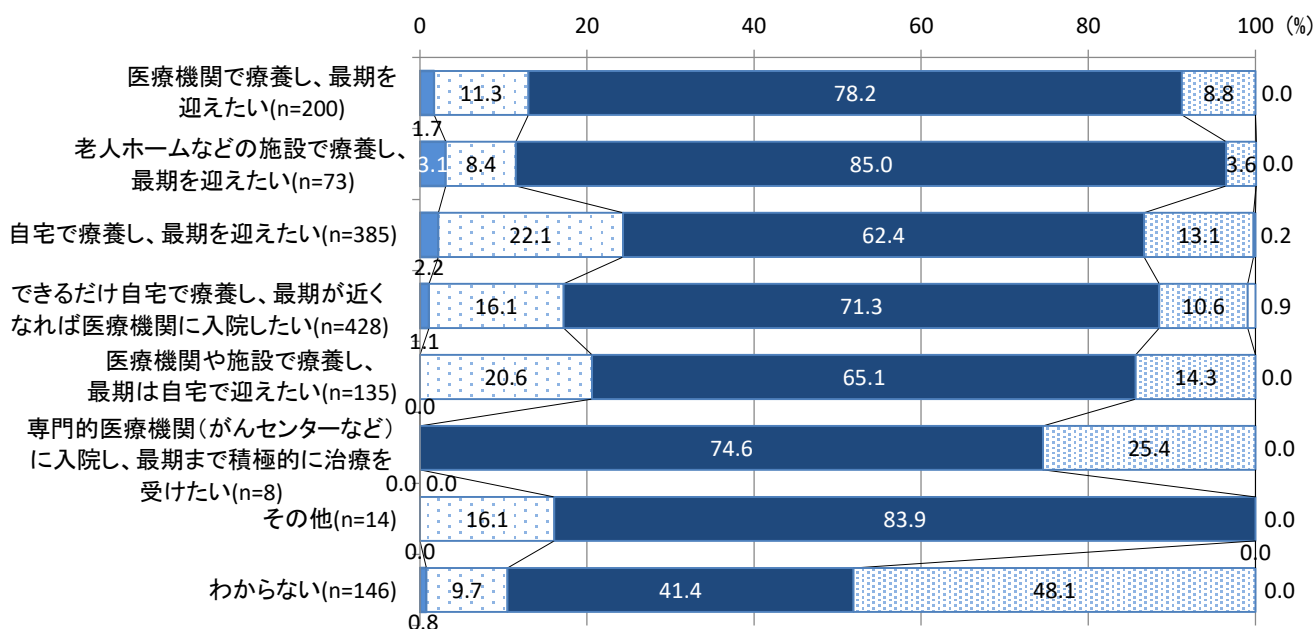
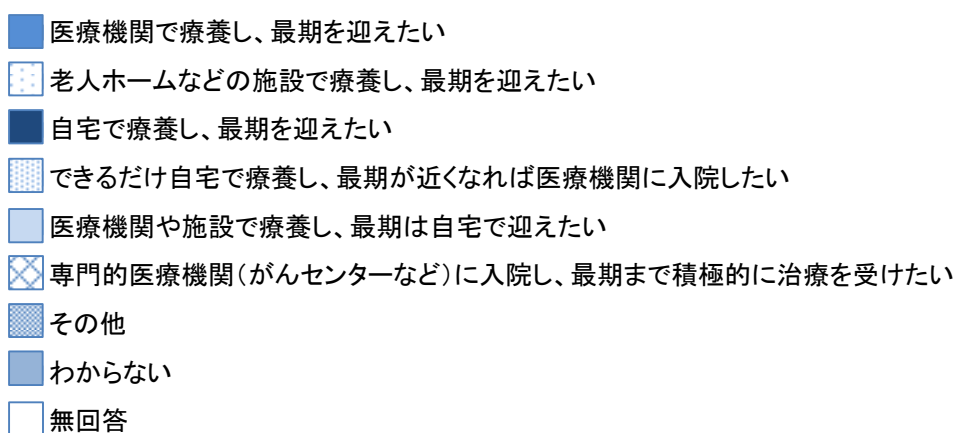
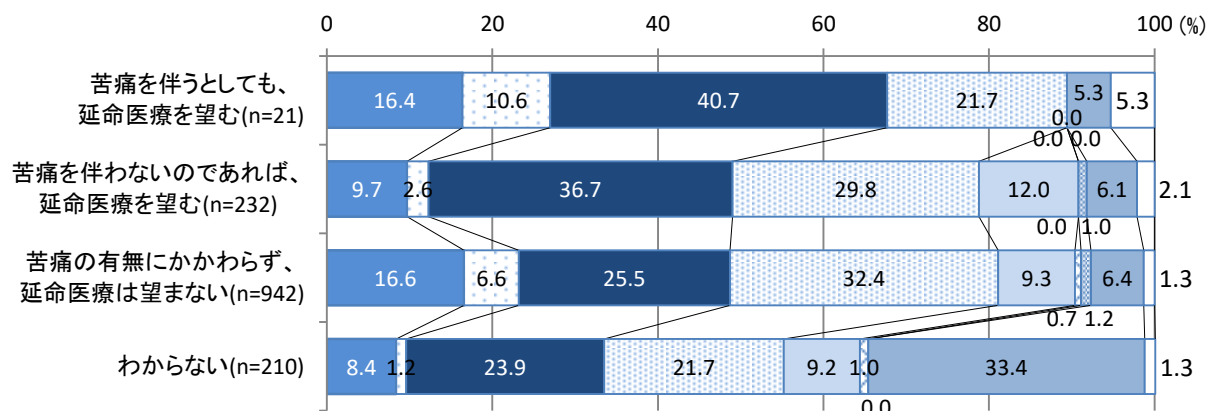
<問 21 とのクロス集計>



<問 22 とのクロス集計>



<問 23 とのクロス集計>



【余命が短い場合に療養・最期を迎えたい場所】

(96)

	全体	医療機関で療養し、最期を迎えたい	老人ホームなどの施設で療養し、最期を迎えたい	自宅で療養し、最期を迎えたい	できるだけ自宅で療養し、最期が近くなれば医療機関に入院したい	最期は自宅で療養し、最期は自宅で迎えたい	専門的医療機関（がんセンターなど）に入院し、最期まで積極的に治療を受けたい	その他	わからない	無回答
全体	全体 n= 1,428	14.0	5.1	26.9	30.0	9.5	0.6	1.0	10.2	2.7
性別	男性 n= 579	11.7	5.9	34.1	24.9	8.6	0.7	0.9	10.9	2.3
	女性 n= 836	15.7	4.7	22.3	33.8	10.1	0.5	1.0	9.5	2.4
年齢階層	10代 n= 34	4.3	4.3	30.4	17.4	8.7	4.3	0.0	30.4	0.0
	20代 n= 165	7.8	1.7	45.2	18.3	10.4	0.0	0.0	15.7	0.9
	30代 n= 197	4.1	4.1	38.5	29.1	9.5	1.4	1.4	11.5	0.7
	40代 n= 229	14.6	2.9	21.5	36.1	10.7	0.5	2.0	10.7	1.0
	50代 n= 197	13.9	5.6	24.7	33.9	9.2	0.8	1.6	9.2	1.2
	60代 n= 248	20.0	6.8	20.8	30.8	8.4	0.0	0.8	9.2	3.2
	70代以上 n= 351	19.1	7.5	21.2	30.8	9.3	0.5	0.5	5.8	5.4
年齢階層 (再掲)	60代以上 n= 598	19.5	7.2	21.0	30.8	8.9	0.3	0.6	7.2	4.5
世帯構成	ひとり暮らし n= 155	16.4	6.5	25.3	26.5	5.5	0.0	2.0	15.0	2.7
	夫婦のみ n= 331	15.3	4.8	26.3	32.1	10.5	0.2	0.9	6.6	3.3
	親・子の二世帯 n= 719	12.8	4.8	28.7	29.9	9.3	0.9	1.0	10.7	2.1
	親・子・孫の三世帯 n= 170	15.5	5.5	23.5	31.3	12.5	0.9	0.0	8.5	2.4
	その他 n= 37	9.4	9.2	20.8	27.3	8.3	0.0	2.1	20.3	2.7
同居の子ども	子どもがいる n= 608	13.4	5.5	26.7	32.2	10.0	0.3	0.9	8.9	2.2
	子どもはいない n= 805	14.6	4.9	27.5	28.6	9.0	0.9	1.0	10.9	2.6
居住地域① (県民局)	備前地域 n= 670	15.5	5.9	27.6	29.1	7.6	0.7	1.0	10.1	2.5
	備中地域 n= 578	11.2	4.6	27.9	30.5	11.6	0.6	1.0	10.2	2.4
	美作地域 n= 171	18.3	3.7	21.8	32.8	9.4	0.0	0.8	11.3	2.0
居住地域② (医療圏域)	県南東部 n= 670	15.5	5.9	27.6	29.1	7.6	0.7	1.0	10.1	2.5
	県南西部 n= 541	11.2	4.4	28.9	30.5	11.5	0.5	1.1	9.3	2.6
	高梁・新見 n= 37	10.6	7.6	12.1	30.3	13.7	2.2	0.0	23.5	0.0
	真庭 n= 39	19.4	8.2	12.4	36.5	10.3	0.0	0.0	13.3	0.0
	津山・英田 n= 132	18.0	2.4	24.6	31.7	9.1	0.0	1.0	10.7	2.6
居住年数	5年未満 n= 65	10.1	10.5	27.3	28.2	7.2	0.0	2.1	11.6	2.9
	5年以上10年未満 n= 51	10.4	1.6	35.5	12.2	18.8	1.6	4.8	11.0	4.1
	10年以上20年未満 n= 158	9.9	1.8	32.8	23.3	10.6	0.9	1.9	17.1	1.7
	20年以上 n= 1,141	15.0	5.3	25.9	32.0	9.0	0.5	0.6	9.2	2.4
職業	自営業(農林漁業、商工サービス業などで、家族従業者を含む) n= 122	12.7	4.2	33.5	31.4	9.7	0.6	1.6	4.9	1.3
	会社・団体などの正社員(正職員) n= 468	11.1	3.6	30.7	30.8	9.1	0.3	0.5	13.2	0.7
	会社・団体などの役員 n= 34	10.6	5.6	24.2	42.2	6.2	2.4	0.0	6.3	2.4
	パートタイマー、アルバイト、契約社員など n= 266	16.2	4.8	25.6	28.0	10.7	0.9	1.7	10.8	1.3
	専業主婦(主夫) n= 165	15.6	5.5	18.6	35.7	11.7	1.0	1.8	6.1	4.1
	学生 n= 51	2.8	5.7	37.1	11.5	14.3	2.9	2.6	23.0	0.0
	無職 n= 308	19.0	7.4	23.4	29.0	7.6	0.0	0.0	8.3	5.4

○余命が短い場合に療養・最期を迎えたい場所について

全体では「できるだけ自宅で療養し、最期が近くなれば医療機関に入院したい」との回答が最も高く、次いで「自宅で療養し、最期を迎えたい」、「医療機関で療養し、最期を迎えたい」などの順となっている。

性別にみると、男性では「自宅で療養し、最期を迎えたい」との回答が最も高く、女性では「できるだけ自宅で療養し、最期が近くなれば医療機関に入院したい」との回答が最も高い。

年齢階層別にみると、10～30代では「自宅で療養し、最期を迎えたい」との回答が高く、40代以上では「できるだけ自宅で療養し、最期が近くなれば医療機関に入院したい」との回答が高くなっている。

職業別にみると、自営業と学生で、「自宅で療養し、最期を迎えたい」との回答が最も高くなっており、学生では「できるだけ自宅で療養し、最期が近くなれば医療機関に入院したい」との回答が約1割程度と他の職業と比べて低くなっている。